

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第1項 学校教育の充実

【施策】 (1) 学校教育体制及び学習環境の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 1 5

主 な 取 組	学校経営の充実						担当課	自己評価
							学校教育課	A
目 標	児童・生徒に対する教育的支援の充実を図り、変化の激しい社会を生き抜くための力を育む							
取 組 状 況 及 び 成 果	①教職員の資質向上（学校指導訪問の実施、各種研修会の実施、各学校の課題研究への支援） ②コミュニティ・スクールの充実 各研修会や学校指導訪問を通して、それぞれの経験年数に応じた指導や支援、研修会を実施したことにより、教職員一人一人が自己を見つめ直し、更に資質を高めようとするきっかけをつくることができた。							
指標及び説明	【指標】 コミュニティ・スクールの導入率				【説明】 小中学校区へのコミュニティ・スクールの設置状況により、導入率を判断。			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
		R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6 平時	R 7	R 8	R 8 平時
								100
		R 2 有事	100	100	100			R 8 有事
								100
分 析	全中学校区でコミュニティ・スクールを実施し、昨年度よりも更に学校区の特色を活かした運営を行うことができた。							
課 題 及 び 改 善 点	コミュニティ・スクールの導入から2年が経ち、それぞれの地区によって課題があきらかになってきた。運営の仕方も含め、委員の人材選定、地域の特色を十分に活用したものにしていきたい。							

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第1項 学校教育の充実

【施策】 (1) 学校教育体制及び学習環境の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 1 5

主 な 取 組	I C T機器を活用した支援						担当課	自己評価
							学校教育課	A
目 標	児童・生徒に対する教育的支援の充実を図り、変化の激しい社会を生き抜くための力を育みます。							
取 組 状 況 及 び 成 果	①タブレット授業活用研究委員会の実施（3回） ②ミライシード活用研修の実施（2回） ③ICT 活用研修会（1回） ④学校指導訪問や校内研修での ICT 機器の使用方法的指導・評価の実施							
指標及び説明	【指標】				【説明】			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
		R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6 平時	R 7	R 8	R 8 平時
		R 2 有事	-	-	-			R 8 有事
分 析	学習支援ソフト「ミライシード」が大幅にアップデートしたことを受けて、その周知および研修、研究を計画通り実施することができた。「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する基盤として、G I G Aスクール構想を推進した。							
課 題 及 び 改 善 点	今後は、本ソフトにおいて教職員が作成した自作教材の共有を推進していく。教材や各種テンプレートが充実することで活用率の向上を目指す。							

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第1項 学校教育の充実

【施策】 (1) 学校教育体制及び学習環境の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P15

主 な 取 組	生徒指導・教育相談の充実						担当課	自己評価
							学校教育課	A
目 標	事業を継続し、内容の工夫改善を図りながらいじめ解消率100%を目指していく。							
取 組 状 況 及 び 成 果	①生徒指導訪問や巡回訪問を各学期に最低1回以上実施し、各学校の児童生徒の状況、学校の対応状況を把握した。 ②スクールソーシャルワーカーと連携を図り、支援が必要な子どもの状況を把握した。 事例に合わせてソーシャルワーカーと情報共有を図り、協議した。 ③福祉、介護等の関係機関との連携を強化し、年間通して50回以上のケース会議・支援会議を実施した。また、様々な関係機関との連携を図った。							
指標及び説明	【指標】 いじめ解消率				【説明】 生徒指導調査の分析により、いじめの解消率を判断。			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	%	R1 平時	R4 平時	R5 平時	R6 平時	R7	R8	R8 平時
		68						100
		R2 有事	43	50	58			R8 有事
		72						—
分 析	福祉・医療等の関係機関との連携が図られ、充実した児童支援を行うことができた。							
課 題 及 び 改 善 点	事業を継続し、関係機関との連携を密に行う。特に学校と関係機関との連携が強化できるよう支援する。							

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第1項 学校教育の充実

【施策】 (1) 学校教育体制及び学習環境の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P15

主 な 取 組	子ども未来室事業の推進						担当課	自己評価
							学校教育課	B
目 標	入間市に育つすべての子どもたちの豊かな育ちと学びを実現し、一人一人の自立を総合的に支援する。							
取 組 状 況 及 び 成 果	児童発達支援センター「ういず」と連携を図るための情報交換を定期的に行った。 こども支援課主催のCLM研修に参加するとともに学校管理職の参加を促し理解を促進した。 教育・福祉・保健の連携を一層強化するための定例会(月1)・研修会(2回・各50名以上の参加)を開催し、各分野の参加者との連携を深化した。							
指標及び説明	【指標】 設定困難				【説明】			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
		R1 平時	R4 平時	R5 平時	R6 平時	R7	R8	R8 平時
		R2 有事						R8 有事
分 析	保幼小の連携、他課との連携が進み、支援がつながることが増えた。							
課 題 及 び 改 善 点	関係諸機関との連携を深めると共に、それぞれの事業の整理をしていく。 多業種・多職種との連携も継続していく。							

主 な 取 組	教材・図書等の充実						担当課	自己評価
							教育総務課	B
目 標	学習指導要領に対応する教材教具を整備し、良好な教育環境の確保とよりわかりやすい授業を展開するための教育内容の充実に向けて、学校管理備品、教育教材備品、学校図書館図書等を計画的に購入します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	令和 6 年度も文部科学省学校図書館図書標準による学校図書館蔵書充足率向上を目標とし、児童生徒が良書に親しむ環境の整備と学校図書の充実のため、引き続き予算措置を図るとともに寄附金を活用し児童生徒用の図書購入費に充てることで更なる学校図書室の充実を図りました。また、以前から市立図書館が実施している移動図書館（希望のあった学校に週に1回訪問）は、子供たちがより多くの良書に触れる機会を作り読書活動の充実を図っています。							
指標及び説明	【指標】 図書館蔵書充足率				【説明】 文部科学省学校図書館図書標準による学校図書館蔵書充足率(平成 5 年度に定めた公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準)			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	%	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		85.90	平時	平時	平時			
		R 2 有事	85.52	86.62	86.52			R 8 有事
		86.36						
分 析	経年劣化等により、3,494 冊（小学校 1,784 冊、中学校 1,710 冊）書籍の廃棄がありました。合計 2,067 冊（購入 1,256 冊及び寄贈 811 冊）の購入等を行いました。結果として充足率は下がりました。							
課 題 及 び 改 善 点	大変厳しい財政状況は変わりませんが、引き続き学校図書館図書充足率 100%を目標として予算措置を進めるとともに、公共図書館との連携についても、より一層の充実が図れるよう検討します。また、児童生徒が一人1台使用しているタブレット端末には、調べ学習や発表等の主体的且つ協同的な学びに活用できる様々なツールが標準装備されていることから、図書蔵書の充実と共に、必要に応じたツールや媒体を子どもたちが選択できる教育環境の整備を目指します。							

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第1項 学校教育の充実

【施策】 (1) 学校教育体制及び学習環境の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 1 6

主 な 取 組	子育て家庭への経済的支援						担当課	自己評価
							学校教育課	A
目 標	内容の充実を図り、必要な家庭への援助を確実に行う。							
取 組 状 況 及 び 成 果	①就学援助制度による学校諸経費、学用品費、給食費、校外活動・修学旅行費等の支援充実→申請に基づき、審査のうえ実施した。 ②小・中学校入学時の学用品費の入学前支給→12月と3月に実施した。 ③新入生保護者会の活用や市長部局（子ども支援部、生活支援課）との連携による就学援助制度の確実な周知→16校及び各課と連携して実施を行った。							
指標及び説明	【指標】 設定困難					【説明】		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	－	R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6 平時	R 7	R 8	R 8 平時
		－						－
		R 2 有事	－	－	－			R 8 有事
		－	－	－	－			－
分 析	計画通りの支援実施により、義務教育の円滑な実施に資することができている。							
課 題 及 び 改 善 点	事業を継続し、内容の充実を図る。							

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第1項 学校教育の充実

【政策】第1章 学校教育体制及び学習環境の充実				
施 策		(1) 学校教育体制及び学習環境の充実		
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	学校経営の充実	学校教育課	A	A
	I C T機器を活用した支援	学校教育課	A	
	生徒指導・教育相談の充実	学校教育課	A	
	子ども未来室事業の推進	学校教育課	B	
	教材・図書等の充実	教育総務課	B	
	子育て家庭への経済的支援	学校教育課	A	
学 識 経 験 者 意 見 等	主な取組として、学校経営の充実、I C T 機器を活用した支援、生徒指導・教育相談の充実、子ども未来室事業の推進、教材・図書等の充実、子育て家庭への経済的支援について、おおむね適切に実施されたものと思います。 とくに「コミュニティ・スクール」は、全中学校区での実施2年が経過し、各学校区の特徴を活かした運営が進められていることはたいへん素晴らしいことです。今後も、この「コミュニティ・スクール」の運営を通じて、入間市が掲げる「地域との連携と生きる力の育成」を目指した取組を着実に進めていかれることを大いに期待します。 子育て家庭への経済的支援として、就学援助制度が適切に進められていることも評価できます。経済的な支援を必要とする家庭において、この制度が適切に機能することがとても重要であると思います。申請に基づいて手続きが進められる制度ではあると思いますが、制度の確実な周知とともに、制度は知っているにも関わらず申請に至らないケースはないか等、必要とする家庭への援助が確実に行えるよう個別の対応を丁寧に進めていくような工夫も必要と思います。 学校図書の充実のため、引き続きの予算措置が図られ、寄付金も活用して、図書の充実が図られたことについても評価できます。子どもたちが良い本に出会うことは、子どもたちの想像性、			

	好奇心、思考力等を育む上で重要です。図書館所蔵充足率 100%を目指して、引き続き図書の充実が図られることを期待します。
--	--

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第1項 学校教育の充実

【施策】 (2) 学校教育内容の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 1 6

主 な 取 組	学力向上の充実						担当課	自己評価
							学校教育課	B
目 標	子どもたち一人一人について、確かな学力の習得を目指す。							
取 組 状 況 及 び 成 果	学力向上のための訪問を行い、各小・中学校の授業の様子を確認するとともに、学校指導訪問において具体的な指導を行った。その結果、各小・中学校で学び合いの授業を推進できた。							
指標及び説明	【指標】 家庭学習の実施率				【説明】 確かな学力の習得につながる家庭学習			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	%	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		78.3	平時	平時	平時			85.0
		R 2 有事	64.4	62.5	57.4			R 8 有事
		81.7						—
分 析	令和6年度の全国学力調査質問紙の内容が変化したため、過去の指標と直接的な比較はできないが、平日の家庭学習は全国平均と同等以上の結果となっている。							
課 題 及 び 改 善 点	家庭学習の実施率を向上させるため、児童・生徒が主体的に学ぶ授業を行うなど、学習への意欲を向上させる手立てについて今後も研究し、教職員への研修・指導を行いたい。							

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第1項 学校教育の充実

【施策】 (2) 学校教育内容の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 1 7

主 な 取 組	豊かな心を育む教育の推進						担当課	自己評価
							学校教育課	B
目 標	子どもたち一人ひとりについて、豊かな心の醸成を目指す。							
取 組 状 況 及 び 成 果	職場体験はすべての中学校で実施できた。狭山茶とふれあう教育については盆点前授業が中学校11校で実施できた。博物館学習は、小学校3年生、6年生（オンライン授業）中学校1年生すべて実施できた。							
指標及び説明	【指標】 ふるさと入間への関心度				【説明】 国や県の学習状況調査により、関心度の高まりを調査する。			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	%	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		61.9	平時	平時	平時			
		R 2 有事	52.4	63.4	58.4			R 8 有事
分 析	ふるさと入間を愛する心を育むことを通じて、豊かな人間性の育成につながっている。							
課 題 及 び 改 善 点	盆点前授業は、今年度実技が7時間から5時間となった。指導者と学校担当教職員との打ち合わせを綿密に行う必要がある。							

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第1項 学校教育の充実

【施策】 (2) 学校教育内容の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 1 7

主 な 取 組	健康・安全教育及び食育の推進							担当課	自己評価
								学校教育課	B
目 標	交通安全並びに防災教育及び食に関する指導や推奨を行う。								
取 組 状 況 及 び 成 果	①小4 対象の自転車免許取得の安全教室を全校で実施した。 ②全小中学校で計画的に防災訓練を実施した。 ③「早寝、早起き、朝ごはんの推奨」「食に関する指導」を全小中学校で実施した。								
指標及び説明	【指標】					【説明】			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値	
		R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時	
			平時	平時	平時				
		R 2 有事	-	-	-			R 8 有事	
分 析	計画していた事業内容はほぼ実施することができた。継続することで学校も児童生徒にも活動や内容が浸透している。								
課 題 及 び 改 善 点	各学校の取組を支援することができるよう事業を継続し、内容のさらなる充実を図る。								

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第1項 学校教育の充実

【施策】 (2) 学校教育内容の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 1 7

主 な 取 組	体力向上の充実						担当課	自己評価
							学校教育課	B
目 標	①体育授業、体育的活動量の量的確保と指導内容の充実 ②体力向上を目指した教育活動の工夫改善と学校への支援の充実							
取 組 状 況 及 び 成 果	事業を継続し、内容の充実を図った。							
指標及び説明	【指標】				【説明】			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	-	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
			平時	平時	平時			
		R 2 有事	-	-	-			R 8 有事
分 析	ICT 機器の活用や学び合いによる授業展開など学校現場では多くの工夫された実践が行われており、児童生徒の体力向上につながっている。							
課 題 及 び 改 善 点	引き続き児童生徒の体力向上を目指し、新体力テストの分析を活かして事業の充実を図る。							

施 策		(2) 学校教育内容の充実		
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	学力向上の充実	学校教育課	B	B
	豊かな心を育む教育の推進	学校教育課	B	
	健康・安全教育及び食育の推進	学校教育課	B	
	体力向上の充実	学校教育課	B	
学 識 経 験 者 等 意 見	主な取組である、学力向上の充実、豊かな心を育む教育の推進、健康・安全教育及び食育の推進、体力向上の充実について、自己評価は全て B でした。おおむね適切に実施されたものと思いますが、さらなる充実の余地も残されている評価でもあると拝察します。			
	学力の向上、体力の向上はともに子どもたちの育ちにおいて重要ですが、いずれもその充実のための取組が実施できたものと思います。実施においては教師の工夫ある授業展開や子どもたちへの指導が重要と考えます。今後は、教師がより良い授業を展開していくための研修の機会や教師の支援の充実を進めていくことにも期待したいと思います。			

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第2項 幼児教育の充実

【施策】 (1) 幼児教育の環境整備

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 1 8

主 な 取 組	子ども未来室事業の推進						担当課	自己評価
							学校教育課	A
目 標	一人一人のより良い成長を支援するため、他課と連携し、事業の充実を図る。							
取 組 状 況 及 び 成 果	全ての未就学施設に巡回支援を実施できた。 小中学校における特別支援学級や通級指導教室に関わる教員の指導力向上が図れた。 他課・他機関・他職種との連携が適切に図れ、相談内容や支援方法の共有ができた。							
指標及び説明	【指標】				【説明】			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
		R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
			平時	平時	平時			
		R 2 有事	-	-	-			R 8 有事
分 析	巡回支援によるアドバイスにより、幼児が環境に適應できることが増え、小学校1年生が落ち着いてスタートできている。							
課 題 及 び 改 善 点	不登校の未然防止策としても、発達支援の継続の意味でも、幼児で充実している支援を見 童・生徒に拡大し、作業療法士・臨床心理士（WISC のアフターフォローも含む）による小 中学校への巡回を検討する必要性がある。							

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第2項 幼児教育の充実

【施策】 (1) 幼児教育の環境整備

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 1 8

主 な 取 組	幼児の通級指導教室を通じた支援						担当課	自己評価
							学校教育課	A
目 標	人間形成において、非常に重要な役割を持つ幼児期の教育の充実を図る。							
取 組 状 況 及 び 成 果	①幼児の通級指導教室「茶おちゃお」においての活動。 ②「茶おちゃお」に在籍する幼児の保護者を対象としたペアレントサポート講座の実施。 ③「茶おちゃお」在籍の幼児が入学を予定している小学校との情報交換会の実施。							
指標及び説明	【指標】 小学校との情報交換会の実施率				【説明】 小学校との情報交換会の実施率			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	%	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
			平時	平時	平時			1 0 0
		R 2 有事	100	100	100			R 8 有事
分 析	保育所、小学校、関係各課との連携や巡回を通じて、きめ細かな対応ができている。 また、在籍する幼児の保護者へのサポートも進めている。							
課 題 及 び 改 善 点	事業を継続していく中で、親へのサポートも課題として検討していく必要がある。							

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第2項 幼児教育の充実

【施策】 (1) 幼児教育の環境整備

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 1 8

主 な 取 組	保護者への情報提供と支援						担当課	自己評価
							学校教育課	B
目 標	保護者の方へ安心して子育てができるような情報提供や支援をする。							
取 組 状 況 及 び 成 果	親の学習講座は年間32回実施することができ、参加型の講座により、保護者の方の子育てに対する不安を軽減できた。 ペアレントサポート講座を行うことで、保護者の方のニーズにあった情報を提供できた。							
指標及び説明	【指標】 設定困難				【説明】			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
		R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6 平時	R 7	R 8	R 8 平時
		R 2 有事	-	-	-			R 8 有事
分 析	こども支援課と連携することで、多くの方々に周知し参加してもらうことができた。 保護者の方の子育てに対するサポート、不安軽減につながっている。							
課 題 及 び 改 善 点	保護者のニーズに合わせた内容の検討 ペアレントサポート講座を担える人材の発掘や育成							

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第2項 幼児教育の充実

【施策】 (1) 幼児教育の環境整備

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 1 8

主 な 取 組	保幼小中連携・接続研修会の実施						担当課	自己評価
							学校教育課	A
目 標	人間形成において、非常に重要な役割を持つ幼児期の教育の充実を図る。							
取 組 状 況 及 び 成 果	保育士・教諭等を対象とする発達障害への適切な対応と支援方法を学ぶ研修会の実施。							
指標及び説明	【指標】 研修の実施率				【説明】 研修の実施率			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	%	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
			平時	平時	平時			1 0 0
		R 2 有事	100	100	100			R 8 有事
分 析	保育士・教諭等の発達障害への適切な対応と支援方法への理解につながった。 保幼小中連携に必要な保育士・教諭等の交流の一助となった。							
課 題 及 び 改 善 点	保育士・教諭等の交流という視点で考えた際、参集型の研修についても検討が必要である。							

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第2項 幼児教育の充実

【施策】 (1) 幼児教育の環境整備

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 1 8

主 な 取 組	幼稚園就園世帯への支援						担当課	自己評価
							保育幼稚園課	A
目 標	幼児教育にかかる経済的負担の軽減を図る。							
取 組 状 況 及 び 成 果	幼児教育・保育の無償化事業による入園料・保育料の補助、給食費のうち副食費分に対する補助等を実施し、幼児教育にかかる経済的負担の軽減を図った。保育料等は毎月各園からの請求により補助(支払い)実施している。副食費補助は年度末一括補助のため、令和6年度分は申請受付を行い、これから集計、支払い処理となる。							
指標及び説明	【指標】 設定困難				【説明】			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
		R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6 平時	R 7	R 8	R 8 平時
		R 2 有事	—	—	—			R 8 有事
分 析	対象者からの申請による補助のため毎年度申請数等が異なり、目標件数・金額等として設定はできないが、申請受付分に対する補助は実施できている。							
課 題 及 び 改 善 点	対象は毎年一定ではないため、引き続き制度の周知を図っていく。							

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第2項 幼児教育の充実

施 策	(1) 幼児教育の環境整備			
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	子ども未来室事業の推進	学校教育課	A	A
	幼児の通級指導を通じた支援	学校教育課	A	
	保護者への情報提供と支援	学校教育課	B	
	保幼小中連携・接続研修会の実施	学校教育課	A	
	幼稚園就園世帯への支援	保育幼稚園課	A	
学 識 経 験 者 意 見 等	子ども未来室の推進、幼児の通級指導を通じた支援、保護者への情報提供、保幼小中連携・接続研修会の実施、幼稚園就園世帯への支援の5つの取組が適切に実施されたと思います。 幼児教育は生きる力の基礎を培う上で、教育の中でも重要な位置づけであると考えます。とくに、未就学施設への巡回支援の実施、幼児の通級指導室での様々な取組に、力を入れ障害のある幼児への教育・支援が充実していた点についてたいへん評価できます。今後も引き続きの充実した取組に期待しています。 保幼小中の連携・接続については、発達障害への適切な対応と支援を学ぶ研修会が実施され、学びを深めただけでなく、保育士・教諭等の交流に繋がったことも良かったと思います。保幼小に関しては、接続期プログラム等、交流を越えて、協働して取組んでいくことも今後に期待したいところです。			

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第3項 学校施設の整備

【施策】 (1) 学校施設の充実・最適化

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 1 9

主 な 取 組	校舎・屋内運動場の整備						担当課	自己評価
							教育総務課	A
目 標	公共施設マネジメントの考え方に基づく施設の再整備に取り組み、サービスの適正化を考慮しつつ、公共施設全体の視点から学校施設の最適化を進めます。							
取 組 状 況 及 び 成 果	○小中学校施設における維持管理 ○小中学校施設における整備事業の計画的な推進 (1)藤沢小学校校舎便所改修工事 (2)金子小学校校舎便所改修工事 (3)藤沢南小学校校舎便所改修工事 (4)小中学校校舎職員男子便所改修工事 (5)藤沢南小学校屋内運動場アリーナ照明器具 LED 化工事 (6)東金子中学校校舎外壁等改修工事 (7)上藤沢中学校屋内運動場便所改修等工事 (8)黒須小学校外7校防犯カメラ設置工事 ほか							
指標及び説明	【指標】 年度当初に計画した事業数				【説明】 維持管理及び施設整備にかかる事業			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	事業	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		1 5 1	平時	平時	平時			1 5 0
		R 2 有事	1 5 6	1 5 5	1 3 8			R 8 有事
		1 5 2						－
分 析	計画した施設整備にかかる事業は、概ね滞りなく改修工事等を実施することができた。学校施設の維持管理にかかる事業についても、概ね目標どおり実施した。また、各学校で課題となっている樹木についても、伐採や剪定等適切に行うことができた。これにより、子ども達の安心・安全な学習環境を整備することができた。							
課 題 及 び 改 善 点	継続的な事業であるため、課題についてはこれまでと変わらない。令和3年度から35人学級編制が開始されたことや、バリアフリー法の改正により、これまでの学校施設整備に加え、新たな課題もあるため、公共施設マネジメント事業計画や、教育委員会の『入間市立小・中学校の適正化に関する基本方針』に基づき、統廃合や大規模改修、長寿命化、改築工事等を計画的に進めていかなければならない。							

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第3項 学校施設の整備

施 策	(1) 学校施設の充実・最適化			
施 策 評 価	主な取組		担当課	自己評価
	校舎・屋内運動場の整備		教育総務課	A
学 識 経 験 者 等 意 見	子どもたちが学ぶ場である施設が安全で過ごしやすい場であることが重要です。計画した施設整備について、全て滞りなく実施できたことを評価します。学校施設整備については、今後も引き続き計画的に進めてほしいと思います。			

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第3項 学校施設の整備

【施策】 (2) 学校給食施設・設備の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P20

主 な 取 組	学校給食センター施設・設備の整備						担当課	自己評価
							学校給食課	A
目 標	学校給食にかかる施設や設備の改修、改善等を適切に行い、安心・安全でおいしい給食の安定的な提供を確保します。							
取組状況及び成果	○老朽化した施設・設備の修繕等を実施することより、安心・安全でおいしい給食の提供を確保できた。 ○学校給食センター更新に伴う建設用地について、事業用定期借地権設定契約締結により確保した。 ○学校給食センター更新に伴う基本・実施設計業務が計画通りに5月末で完了した。 ○令和8年2月27日を工期とし、学校給食センター建設工事を分離発注（建築・電気設備・機械設備）にて発注、令和6年9月25日に契約を締結し、計画通りに工事に着手した。（令和6・7年度の継続事業）							
指標及び説明	【指標】 学校給食センター更新進捗率				指標及び説明			
指 標 の 推 移	単位	指 標 の 推 移		単位				指 標 の 推 移
	%	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		5	平時	平時	平時			100
		R 2 有事	25	45	65			R 8 有事
		10						100
分 析	基本・実施設計を遅滞なく終了することができ、また、地権者と良好な関係を築きつつ、順調に交渉を進め用地の確保ができたため、工事の発注事務を予定通り進めることができたと考えている。令和8年8月の運用開始に向けて、順調に前進している。							
課 題 及 び 改善 点	・運用開始に向けた職員体制の検討及び試作、研修のスケジュール調整 ・新たな施設の運用開始後、速やかに既存施設の解体工事を発注できるよう、令和7年度に実施する解体設計を遅滞なく進めることが必要							

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第3項 学校施設の整備

【施策】 (2) 学校給食施設・設備の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P20

主 な 取 組	自校給食施設・設備の整備						担当課	自己評価
							学校給食課	A
目 標	学校給食にかかる施設や設備の改修、改善等を適切に行い、安心・安全でおいしい給食の安定的な提供を確保します。							
取組状況及び成果	○全ての小学校にスチームコンベクションオーブンの設置(16校/16校)が完了したことで、全施設で調理環境が改善し、様々な献立に対応することが可能となった。 ○新たに小学校2校に対し、真空冷却機を設置(9校/16校)したことで、夏場の衛生管理の改善に繋げることができた。							
指標及び説明	【指標】 スチームコンベクションオーブン及び真空冷却機設置率				指標及び説明			
指標の推移	単位	指標の推移			単位			指標の推移
	%	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		13	平時	平時	平時			90
		R2有事	50	65	78			R8有事
		22						90
分 析	・スチームコンベクションオーブンが全施設に配置されたことにより、夏場の調理環境の向上及び、献立の充実が図られたと考えている。 ・真空冷却機の導入により夏場の衛生管理の向上及び、サラダや和え物など急速冷却によって安全な温度帯による提供ができるようになってきている。暑さで食欲が落ちる中で冷えた状態のメニューを喫食することができるのは食欲増進にも繋がっていると考えている。							
課 題 及 び 改 善 点	・スチームコンベクションオーブンを最初に導入した施設では10年以上経過することから、経年劣化による動作不良等、不具合が出てきているため、令和7年度に1校入れ替えを予定している。今後も計画的な入れ替えの検討を進めていく。 ・真空冷却機については設置校と未設置校の格差を無くすため、引き続き計画的に1年につき2校程度の設置を進める必要がある。							

【施策の体系】 3 幼児・学校教育

【政策】 第3項 学校施設の整備

施 策	(2) 学校給食施設・設備の充実			
施 策 評 価	主な取組		担当課	自己評価
	学校給食センター施設・設備の整備		学校給食課	A
	自校給食施設・設備の整備		学校給食課	A
学 識 経 験 者 等 意 見	子どもの生活・育ちにとって「食」の重要性は言うまでもありません。子どもたちに安心・安全でおいしい給食を提供するための学校給食に係る施設や設備の改修、改善が計画通りに進められたことを確認しました。 すべての小学校にスチームコンベクションオーブンの設置が完了し、調理環境が整ったことで献立の充実が図られたことはたいへん評価できます。しかしながら、今後は、経年劣化した機器の入れ替えが課題となっているので、引き続き設備の充実について取組を進めてほしいと思います。			